

項目	2017年3月17日	2017年3月18日	2017年3月19日
開館時間	10:00	10:00	10:00
閉館時間	17:00	17:00	17:00
定休日	なし	なし	なし
入館料	無料	無料	無料
観覧料	無料	無料	無料
会場	大和川酒造 北方風土館昭和蔵	大和川酒造 北方風土館昭和蔵	大和川酒造 北方風土館昭和蔵
住所	福島県喜多方市字寺町4761番地	福島県喜多方市字寺町4761番地	福島県喜多方市字寺町4761番地
TEL	0242-47-2121	0242-47-2121	0242-47-2121
FAX	0242-47-2122	0242-47-2122	0242-47-2122
HP	http://www.wakayama-ryu.co.jp	http://www.wakayama-ryu.co.jp	http://www.wakayama-ryu.co.jp



いいたて ミュージアム

喜多方巡回展
～までの未来へ記憶と物語プロジェクト～



いいたてミュージアムとは、東京電力福島第一原子力発電所事故により全村避難となった飯館村のこゝと、飯館村に起こったことを福島県内外に広く発信し、未来の世代へも伝えていこうというプロジェクトです。

村民のみなさんのお宅へお伺いし、みなさんにとっての「古いモノ」「大事なモノ」「歴史的なモノ」を見せていただき、それにまつわるお話を集めてきました。「モノ」にまつわるお話から見てきたのは震災・原発事故前の豊かな村の姿でした。

集まった飯館村のみなさんの「モノ」と「言葉」をご紹介します巡回展を平成25年にスタート。今年度、県内2回目の巡回展は蔵のまち喜多方で開催します。開催期間中に行う勉強会では、福島県復興局長木幡浩氏の講演をお聴きし、3月31日の帰村を間近に控えた飯館村の未来、福島県の復興について、パネラーの方々と参加者全員で大いに語り合いたいと思います。

会 期: 2017年**3月17日**(金)～**26日**(日) (開催日数: 10日間)

観覧時間: 10:00～17:00

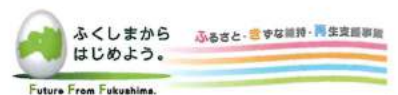
会 場: **大和川酒造 北方風土館昭和蔵**(福島県喜多方市字寺町4761番地)

観 覧 料: 無料

主催: いいたてまでの会

協力: 合資会社大和川酒造店

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局



平成28年度福島県地域づくり総合支援事業(ふるさと・きずな維持・再生支援事業)



期日:平成29年**3月24日**(金)

場所:大和川酒造 北方風土館昭和蔵(福島県喜多方市字寺町4761番地)

第一部 (15:00~16:00)

特別講演「福島復興への復興庁の取組と飯舘村の復興」

講師:復興庁福島復興局長

木幡 浩 (コハタヒロシ) 氏



1960年福島県生まれ。東京大学経済学部卒業後、1984年旧自治省入省。長崎県、徳島市、香川県での自治体勤務、総務省等国での勤務の後、岡山県副知事、消防大学校長を経て、2016年6月より現職。地域経営、危機管理を中心に幅広く政策立案・執行に携わり、全国に先駆けて発案した子育て家庭への支援制度をはじめ「響く政策」がモットー。現在、前例のない原子力災害等から復興に、現地責任者として、現場主義と柔軟な発想で取り組む。北海道大学公共政策大学院等で教授等も務めた。

第二部 (16:30~17:30)

座談会「飯舘村の未来と子どもたち」

コーディネーター:川延 安直 (福島県立博物館専門学芸員)

パネラー:遠藤 由美子 (奥会津書房編集長)

山下 陽子 (岡山県立倉敷南高等学校校長)

小林 稔 (飯舘電力株式会社代表取締役社長)

小林 めぐみ (福島県立博物館主任学芸員)

佐藤 彌右衛門 (いいたてまでの会共同代表)



【会場地図】

大和川酒造 北方風土館昭和蔵

■お問い合わせ

いいたてまでの会事務局

〒960-8042 福島県福島市荒町4-7 県庁南再エネビル2階 tel:070-5622-4982 Mail:iitatemadei@gmail.com

■会場のお問合せ

大和川酒造 北方風土館昭和蔵

〒966-0861 福島県喜多方市字寺町4761番地 tel:0241-22-2233